

会 議 記 録			
会議の名称	環境市民厚生常任委員会		会議場所 第1委員会室 担当職員 小野
日 時	令和4年6月27日（月曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 27 分
出席委員	◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 西口（欠席：竹田）		
理事者 出席者			
事務局	小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 開 議

2 委員長報告の確認

[長澤委員長 委員長報告朗読]

<長澤委員長>

意見はあるか。

（意見なし）

～10：04

3 議会だよりの掲載事項について

<長澤委員長>

意見はあるか。

（意見なし）

～10：06

4 行政視察について

<長澤委員長>

行政視察の候補地と調整を行ったところ、厚生労働省と東近江市は受入れが可能とのことであるが意見はあるか。

<平本委員>

厚生労働省への行政視察について、新清流会は既に現地で話を聞いている。環境市民厚生常任委員会として、改めて話を聞きに行きたいと考えていたが、その際には先進地の取組状況を把握した上で、厚生労働省の考えを聞きに行きたいと思ってい

た。今回、厚生労働省周辺の先進地で受入れが可能な自治体がないとのことであるため、厚生労働省のためだけに東京方面へ行く必要はないと思う。費用対効果を考えると、東近江市はよいと思うが、厚生労働省などの情報と比較することができないため、先進地視察という意味では疑問が残る。一つの情報として話を聞きに行くというのであれば、それはよいと思う。

<西口委員>

厚生労働省は、重層的支援体制整備事業に最も詳しい社会・援護局地域福祉課の田代係長と連絡を取ったのか。

<事務局主任>

田代係長は、この制度の立ち上げから関わり、各自治体に情報提供やレクチャーを行われていた方であるが、人事異動で現在の担当は千葉係長という方に代わっている。今回は、千葉係長から話を聞けることになっているが、配置換えから間もないため、制度の説明はできるが、これまでの経緯やこれから方向性といった深い話をすることは難しいとのことであった。

<西口委員>

情報量が少ないのであれば、厚生労働省に行く必要はない。この事業は始まったばかりで、東近江市でも成果が見られるのか疑問であるため、今回は行政視察を見合わせてはどうか。

<富谷委員>

どの程度事業が進んでいるのかは分からないが、本市で事業を進めるために必要な情報収集を行うという目的で、東近江市へ視察に行ってはどうか。

<三宅委員>

厚生労働省に行っていない会派もあるので、委員会として話を聞くよい機会であると思う。費用対効果の話があったが、行政視察は行くことに意味があり、本来の目的を達成するためには関係がないと考える。

<大塚副委員長>

厚生労働省については、先ほど説明があったとおり、まだ深い話が聞けないとのことであるため、今回は行く必要がないと考える。行くことに意味があるとのことであるが、現時点では情報が少なく深掘りすることもできないため、厚生労働省に行っても意味がないと思う。東近江市は、どの部分が先進的な取組なのか分からないが、亀岡市に生かせることがあるのであれば、視察に行ってもよいと思う。

<長澤委員長>

厚生労働省への行政視察については、見合わせるということではどうか。

—了—

<長澤委員長>

東近江市についてはどうか。

<平本委員>

東近江市は、私が提案した自治体であるが、人口が約11万人であり、東京方面の自治体と比べると人口規模が亀岡市に近いので、行政視察に行ってはどうか。

<西口委員>

東近江市における成果という部分に懸念はあるが、委員会としての総意であれば行政視察を行えばよいと思う。

<長澤委員長>

7月29日に東近江市で行政視察を実施するというのではどうか。

—了—

<長澤委員長>

行政視察を行うに当たり、事前の勉強会を7月22日に実施する。

散会 ～10:27